

明石の君

- 父からの厳しい教育
  - 父・明石の入道
    - 上流貴族の血筋
    - 都での出世をあきらめ明石に移住
    - 神のお告げを機に厳しい教育を施す
  - スパルタ教育
    - 和歌や音楽などの芸事
    - 立ち振る舞いや言葉遣いなども
    - ⇒ 父の期待に応えるべく必死に励む



- 知的で謙虚な中流貴族
  - 
    光源氏
    - 須磨下り時、娘と引き合わせる明石の入道
    - 明石の君に感心し、魅了される
  - 明石の君
    - 光源氏との身分の違いを痛感
    - 好意を寄せられても、すぐには応えず
    - 付き合い始めても謙虚で控えめに振る舞う
- 娘の将来を思っての別れ
  - 光源氏との間に娘誕生 
    - その後、娘と光源氏が待つ都へ
  - 光源氏から要請
    - 「娘を正妻・紫の上の養女にしたい」
    - 紫の上に預けた方が娘の将来のためになる
  - 娘との別れ
    - 後に立派に成長し、皇太子の母となる